

第16回岩手県がんフォーラム

第16回岩手県がんフォーラム

事前に県民から岩手日報社に寄せられた質問にパネリストの皆さんがあなたに答える。

Q 抗がん剤治療を始めます。髪の毛が抜けないようする方法はありますか。また養毛剤は有効ですか。

A 二瓶氏 今のところ脱毛を予防する有効な方法はありません。脱毛を抑える一方法として頭皮冷却法が期待されていますが、日本では保険適用外であり、実施可能な施設は限られています。

養毛剤や育毛剤を使いたいという人もいますが、期待するような効果が十分に確認された製品はありません。かえって養毛剤や育毛剤の刺激が頭皮に良くない場合もありますので、治療中の使用は基本的に勧められません。

Q 治療中は髪を染めることはできますか。

A 二瓶氏 一般的にはカラーやバーマは控えていたぐことが無難で、治療が終わる約1年後からかけていいとされています。ただし、抗がん剤の種類や副作用の出現状況によって、治療中であっても可能な方もいますので、気になる方は医師に相談しましょう。

Q 乳がんの全摘出手術後に傷を見ることができるのか心配ですか。

A 三浦氏 焦って無理に傷を見なくても大丈夫です。まずは服の上から、次に下着の上から触れるなど、段階的に進めていただければと思います。傷をきれいに洗うことはとても大切ですので、傷を見たり触れたりできない場合は泡タイプのボディーソープなどで包むように洗うといいと思います。

Q 手術後の下着の選び方を教えてください。

A 三浦氏 手術後1カ月ぐらいではワイヤーが入っていない下着で、前開きの着しやすいタイプを選ぶとか、カップ付きのキャミソールやタンクトップで代用することができます。手術後に痛みが落ちいたら手術前に使っていたものに戻していただきてもいいと思いま

乳がんの手術後に、乳房の重みに左右差が生じ頭痛や肩こり、腰痛を訴える方もいます。そのような時は重さのあるシリコンタイプの補正パッドを使う方法がありますが、さまざまな選択肢がありますのでご相談ください。

Q 治療中は紫外線対策は必要でしょうか。

A 藤間氏 紫外線対策が特に必要な抗がん剤を使用する際は担当医や看護師の指導に従ってください。それ以外の場合でも、紫外線対策は肌への影響を軽減するために必要なので、日常的な対策を行っていただきたいと思います。

Q ウィッグはどんな商品を選べばいいですか。

A 藤谷氏 ウィッグは価格が高ければいいというのではなく、価格を見ながら、自分に似合うもの、かぶり心地がいいものを選んでほしいです。

UVィックを着用していることを他者に知られたくないという方もいらっしゃいます。私たちは思いを聞いて、どうすれば自分らしく生活できるのかと一緒に考えていくたいと思います。

Q がん患者医療用補正具購入費助成制度があると何いました。

A 玉川氏 助成額は市町村によって異なりますが、購入費用の一部が助成されます。申請書や治療を受けていることを証明する書類などを提出する流れとなります。

Q 外見の変化についての不安や悩みは病院に相談できます。

A 玉川氏 1人で抱え込まずに担当医や看護師に相談してください。患者が自分らしく生活できるように寄り添いサポートしていかなければと思っています。

A 藤間氏 治療の方法や時期によって対処方法が異なりますので、まずは担当医や看護師に聞いて確認してください。詳しい話を聞くことができなかったら、誰に聞けばいいのかを紹介してもらってくれます。患者が外見のことで誰一人取り残されることがなく、悩むことなく治療していくけるような仕組みをつくっていきたいと思います。



△主催 岩手県、岩手県がん診療連携協議会、岩手日報社
△協力 岩手ホスピスの会、盛岡かたくりの会、アイリスの会、北上おでんせの会（家族の会）、一関地域の在宅緩和ケアを考えるリボンの会、日本オストミー協会岩手県支部、岩手喉友会、北日本若年性がん患者会 The Bright Future

講師 藤間勝子氏（アピアランスケアセンター中央附属病院長）
座長 板持広明氏（アピアランスケアセンター中央附属病院長）

基調講演

がん患者の日常を支えるアピアランスケア



県民からの質問コーナー

板持 広明（ひろあき）
90年鳥取大学医学部卒。同大医学部准教授、臨床心理士資格取得。19年より岩手医科大学附属病院研究センター中央病院で、がん患者に対する美容用アピアランスケアを実践している。21年より現職。

藤間 勝子（とうま・しおこ）
90年鳥取大学医学部卒後院にて公認心理師、臨床心理士資格取得。19年岩手医科大学附属病院で、がん患者に対する美容用アピアランスケアを実践している。21年より現職。

板持 広明（ひろあき）
90年鳥取大学医学部卒。同大医学部准教授、臨床心理士資格取得。19年岩手医科大学附属病院で、がん患者に対する美容用アピアランスケアを実践している。21年より現職。

藤間 勝子（とうま・しおこ）
90年鳥取大学医学部卒後院にて公認心理師、臨床心理士資格取得。19年岩手医科大学附属病院で、がん患者に対する美容用アピアランスケアを実践している。21年より現職。

板持 広明（ひろあき）
90年鳥取大学医学